

平成28年 9月 7日
 岐阜県立飛騨高山高等学校
 国土交通省高山国道事務所

飛騨高山高校の生徒による昆虫類(トンボ)調査 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

1. 概要 : 高山西インターチェンジ内のビオトープにおいて、飛騨高山高校の生徒たちが、秋に見られる昆虫類(トンボ)の採集方法などを学び、ビオトープの環境について確認できたトンボを用い簡単な評価を行います。
 2. 日時 : 平成28年 9月12日(月) 13:30～15:30
 (予備日: 9月16日(金) 13:30～15:30)
 3. 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
 ビオトープ“飛騨の森再生”(高山市清見町牧ヶ洞地内)
 4. 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生 5名
 国土交通省高山国道事務所 職員
 5. 添付資料 : 別紙のとおり
 6. 配布先 : 高山記者クラブ
 7. 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
 環境科学科 遠藤 貴史(えんどう たかふみ)
 TEL 0577-33-1060
 FAX 0577-32-8994
- 国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
 計画課長 奥田 清典(おくだ きよのり)
 TEL 0577-36-3822
 FAX 0577-36-3801



今年度5回目となる今回は、環境科学科2年生5名が参加して、ビオトープ内において秋に見られる昆虫類（トンボ）の調査を行います。トンボの仲間は昆虫の中でも生態や生息環境が比較的良好に知られており、また調査の際にも見つけやすく、その場で種名を調べることができる生き物です。こうした性質からトンボは水辺の環境を指標する生物として、環境の状況の評価する材料として使われることがあります。

今回の学習では、トンボの採集方法や判別方法を学ぶとともに、ビオトープがトンボにとってどのような環境であるか簡単な評価を行います。

昨年度の学習状況(平成27年9月14日実施)



トンボの採集状況



採集状況



採集したトンボの分類

ビオトープで見られるトンボ類

平成16年11月の完成以降、平成17～21年と平成26年（整備後10年経過）に生物のモニタリング調査を行っています。調査によりビオトープでは30種のトンボが確認されています。（日本国内では203種、岐阜県内では100種確認）



アキアカネ【トンボ科(アカネ属)】



ミヤマアカネ【トンボ科(アカネ属)】



オオシオカラトンボ
【トンボ科(アカネ属以外)】



シオカラトンボ
【トンボ科(アカネ属以外)】



オオルリボシヤンマ【ヤンマ科】



ギンヤンマ【ヤンマ科】



アオイトトンボ【アオイトトンボ科】



オオアオイトトンボ【アオイトトンボ科】



キイトトンボ【イトトンボ科】